

学校情報

①学校の概要、目標及び計画

学校名	設置年月日	校長名	所在地・連絡先
大宮こども専門学校	平成25年3月18日	増田 泰朗	〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-197-1 (電話) 048-658-0855
設置者名	設置年月日	代表者名	所在地・連絡先
学校法人 三幸学園	昭和60年3月8日	昼間 一彦	〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目23番16号 (電話) 03-3814-9641
学校の教育・人材養成の目的			
「世の中の困難を希望に変える」をミッションとし、学校教育法に基づき、保育の関連分野において活躍できる人材を育成するため、必要とされる知識や技能を教授することを目的とする。			
沿革	http://www.sanko.ac.jp/about/history/		

②各学科等の教育

学科	修業年限	入学定員	収容定員
保育科	2	120	200
こども総合学科	3	120	340

<カリキュラム（科目配当表）について>

カリキュラム（科目配当表）
https://www.sanko.ac.jp/omiya-child/pdf/course_omiya.pdf

<シラバスについて>

学科	学年	シラバス
保育科	1年	https://www.sanko.ac.jp/omiya-
保育科	2年	https://www.sanko.ac.jp/omiya-
こども総合学科	1年	https://www.sanko.ac.jp/omiya-
こども総合学科	2年	https://www.sanko.ac.jp/omiya-
こども総合学科	3年	https://www.sanko.ac.jp/omiya-

<客観的な指標の算出方法>

客観的な指標の算出方法
全履修科目の評定（5点法で示されたもの）の和を科目数で除したものを「評定平均」とし、年に2回（期末ごとに）一覧管理を行うことで、成績の分布状況を把握する。

<卒業要件と「目指すべき人材像」について>

卒業要件	
本校に修業年限以上在学し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に、卒業の認定を行う。卒業要件単位数は、31単位数に当該学科の修業年限相当数を乗じた単位数以上とする。	
保育科	保育者として、高い人間力を身につけ、常に「育ってほしい姿（10の姿）」を見据え、子ども達一人一人に合った保育を実践することができる人材。 【10の姿】 1. 健康な心と体 2. 自立心 3. 協同性
こども総合学科	4. 道徳性・規範意識の芽生え 5. 社会生活との関わり 6. 思考力の芽生え 7. 自然との関わり・生命尊重 8. 数量・図形、文字等への関心・感覚 9. 言葉による伝え合い 10. 豊かな感性と表現

<取得可能な資格について>

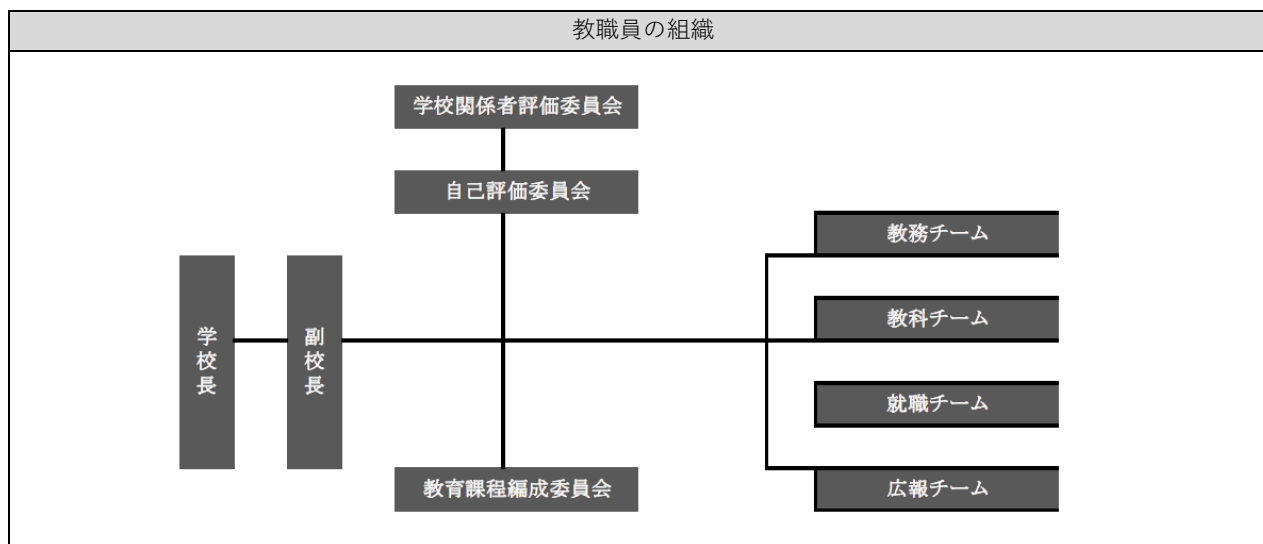
取得可能な資格	https://www.sanko.ac.jp/omiya-child/jobdata/skill.html
---------	---

<卒業後の主な進路について>

就職実績	https://www.sanko.ac.jp/omiya-child/jobdata/jobdata.html
------	---

③教職員

専任教員	18人
兼任教員	23人
事務職員	4人



<教職員の専門性について>

名前	専門分野	資格・職歴等
河合 英子	環境・人間関係	保育士／幼稚園教諭2種免許状取得・保育士、園長として26年勤務
橋本 圭介	社会福祉・児童家庭福祉	埼玉県福祉サービス第三者評価調査員・保育士養成課程の授業を20年間担当
東 悠美	表現	保育士／幼稚園教諭2種免許状取得・幼稚園4年・子育て支援5年
小室 浩子	乳児保育・障がい児保育	保育士／幼稚園教諭2種免許状取得・保育園7年・病棟保育6年
児玉 千佳	音楽表現	中学校・高等学校専修免許（音楽）・高校1年・大学4年・専門学校5年
大木 寛人	身体表現	中学校・高等学校1種教員免許（体育）・高校教師4年・パーソナルトレーナー2年

④キャリア教育・実践的職業教育

キャリア教育への取組	https://www.sanko.ac.jp/omiya-child/course/practice/
実習実技への取組	<p>【保育実習Ⅰ】 保育所及び施設の役割と機能、保育内容と保育環境、保育の計画・観察・記録、専門職としての保育士の役割と職業倫理を学び、子どもへの理解を深める。</p> <p>【保育実習ⅡまたはⅢ】 保育実習Ⅰでの学びをもとに、保育士として必要な資質、能力、技術を修得することを目的とし、家庭と地域の生活実態にふれ、子育てを支援するために必要とされる能力と、こども家庭福祉ニーズに対する理解力、判断力を養い、福祉の視点を持った保育士養成を目指し保育所または施設での実習を行う。</p> <p>上記実習においては生徒の実習前の事前訪問（オリエンテーション）から実習中における指導（実習生としての姿勢、日誌などの技術的指導）を行い、担当教員による実習期間中の訪問等により、個別の指導を行っている。なお、実習後は園よりいただいた評価に基づき、振り返りを実施し、フィードバックを行っていく。</p>

⑤様々な教育活動・教育環境

学校行事	https://www.sanko.ac.jp/omiya-child/schoolguide/year.html
------	---

⑥学生の生活支援

生活上の諸問題（中途退学、心身の健康）への対応
<p>クラス担任制を取り、学校生活に関するサポートは担任が中心に行っている。</p> <p>5月末までに保護者へのご挨拶も兼ねて保護者への電話連絡を行い、ご家族への情報共有と信頼関係構築に努めている。また生徒に対しては5月より個人面談を実施し、個々の悩みを早期に発見・解決するよう取り組んでいる。</p> <p>入学前と入学後のギャップを埋めるため、入学直前の3月に入学予定者向けと保護者向けに学校生活や実習、就職等に関する説明会を実施している。</p> <p>希望があった場合にはカウンセリングを行えるよう、スクールカウンセラーを配置している。</p>

⑦学生納付金・就学支援

学生納付金	https://www.sanko.ac.jp/omiya-child/guidelines/pdf/c_1.pdf
就学支援	https://www.sanko.ac.jp/omiya-child/guidelines/

⑧学校の財務

事業報告書	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf
-------	---

⑨学校評価

自己評価・学校関係者評価結果	https://www.sanko.ac.jp/omiya-child/pdf/kankeisyahyouka_omiya.pdf
----------------	---